

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	13	学 校 名	静岡県立浜松特別支援学校	校 長 名	園田 一哉
------	----	-------	--------------	-------	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

(2) 目標具現化の柱

- ア <授 業> 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校
 イ <安全・安心> 命と人権を大切にする学校
 ウ <協 働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
 エ <チ ーム> 教職員が夢を持って学校づくりに参画し働きがいを感じる学校

2 本年度の主な取り組み

取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア <授 業>	個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校		
児童生徒が夢中になれる学校生活の創造	・時期毎のテーマを核とした年間指導計画の作成及び単元づくり	年間計画の作成にあたって、時期毎、取り組むべきことを明確化・焦点化している。	学部 学年
個別最適な学びの充実	・学びのプロセスと成長(願う姿)をイメージした支援目標の設定 ・個に応じた支援、環境設定	学びのプロセスと個々の成長を想定した支援目標及び個別の指導計画に基づいた指導ができています。	教務課 特別支援課 自立活動課
協働的な学びの充実	・集団で学ぶ良さの確認と効果的な学びを実現できる集団編成	集団で取り組む(友だちと取り組む)良さを生かした授業づくりを実践している。	学部 学年
自立活動の充実	・流れ図を活用した話し合い ・自立活動基本研修の実施 ・実践例の紹介 ・教材・教具の紹介	実態を多面的に捉え、的確な指導目標を導き出し、指導場面を明確にして、効果的な自立活動の指導ができています。	自立活動課
生活単元学習、作業学習の充実	・3つの視点(最良のテーマ・成就したいこと・解決したいこと)の確認と検討 ・学びの見取りを意識した授業実践	最良のテーマを基に、成就したいことは何かを明確にした授業づくりをしている。授業や単元ごとに個々の学びを共有できている。	研修課 学部(学習グループ) 学年
国語・算数/数学の充実	・学習指導要領の領域と段階を捉えた年間指導計画作成 ・ミニ学習会等の実施	個々の実態から学習指導要領の領域・段階を捉えた指導計画を立て、授業づくりをしている。	教務課 学習指導課 学部
ICT の活用の促進	・ICT 活用情報の掲示板掲載 ・学部・学年・分掌等へのICT 関連での支援と助言	児童生徒が ICT に関心を持ち、情報活用力が高まる授業づくりをしている。	情報教育課

様式第1号

図工・美術等、表現活動の充実	・単元毎に鑑賞活動を設定 ・画材や楽器の補充 ・出前講座等の活用	感性を磨き、個性を生かした表現活動のできる素材や補助具を用意している。	学習指導課
健康指導の充実	・健康や身体イメージを学ぶ ・保健体育・生活指導の実施	児童生徒が健康を意識して生活できるよう働き掛けている。	保健体育課
道徳指導の充実	・年間指導計画に観点を記入 ・単元カードに観点を記入して共有、確認	道徳の指導の観点から抑えるべき内容を確認して、各教科や合わせた指導等を行っている。	学習指導課
イ <安全・安心> 命と人権を大切にする学校			
命を守る意識と行動力の向上	・月1回防災学習の日の設定 ・さまざまな状況を想定した避難訓練の実施	児童生徒の命を守るために、指示が無くても取るべき行動を自身で判断することができる。	防災課
安全・快適な環境づくり	・安全点検のマンネリ化防止 ・定期的な職員作業の実施	施設を効果的に活用するために、廃棄・片付け・清掃に自ら気付き取り組んでいる。	総務課
事故防止の強化	・事故防止のための3分研修の実施（月1程度）	けがや事故の予防を心掛け、実態に応じた配慮を行っている。	保健体育課
人権を守る意識と行動力の向上	・人権研修会の実施 ・自己チェックの実施 ・人権の話題の随時配信	学校が児童・生徒の居場所(安心する場)となるよう、人権を意識した言動を心掛けている。	生徒指導課
相談体制づくり	・児童生徒が学校生活の悩みを相談できる場を工夫する	校内で児童生徒が相談しやすい場ができています。	生徒指導課
ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校			
発信力の向上	・積極的な広報活動 ・Instagramによる配信	学校を知ってもらえる伝え方、発信の仕方を工夫している。	学部 情報教育課
江之島地区三校（浜特・江南中・江之高）の協働体制の強化	・三校連携協働委員会の開催 ・協働事業の検討と実施	三校協働事業が少しずつ実施できている。	管理職 特別支援課 学部
学校応援隊の活用 の推進	・地域の物・こと・人を活用した学習の計画、実施 ・ボランティア開拓	地域を知る、地域と触れ合う、地域の役に立つ等の活動に取り組んでいる。	特別支援課 学部 学年
進路指導の充実	・進路指導の手引き配布 ・教員向け進路学習会 ・進路先の様子が分かる動画の作成依頼	児童生徒の「夢」を育み、本人・保護者の「願い」を大切にしたい進路指導をしている。	進路支援課
センター的機能の充実	・HPでの窓口等の情報発信 ・連携校への訪問・メール等	高等学校や小中学校のニーズに対応するため、教育相談、研修支援等への依頼に応じている。	特別支援課

様式第1号

エ <チーム> 教職員が夢を持って学校づくりに参画し働きがいを感じる学校			
コミュニケーション力の向上	・コミュニケーション研修や「浜松特支の夢を語る会」の実施	働きやすいチームとなるよう、相手の立場に立った伝え方、受け止め方を心掛けている。	学部
働き方改革の推進	・学習集団・指導体制の見直し ・持 ・学校全体の業務の見直し ・管理当番、同窓会業務見直し	特別な場合は除き、週に複数回、空き時間を確保している。時間外勤務45H/月以上が連続する職員はいない。	学部 副校長
指導効果を高める 予算の執行	・定期的な校内巡視と校内の要望の聞き取り ・計画的・効果的な予算執行	必要物品の計画的な購入、不具合箇所への迅速な対応、不要物品の積極的な廃棄等を行っている。	事務部
倫理観の向上	・校長による講話 ・不祥事根絶研修の実施 ・自己チェックの実施	不祥事0件	管理職